

■ 事前協議書添付資料 景観配慮検討書（石巻山眺望保全区域用）

<p>①地域の景観の特徴</p> <p>※景観計画に位置づけされた「眺望地点」のうち、計画物件が見える眺望地点からの眺めの状況を整理します。</p>	<p>※ 計画物件が見える「下地緑地」からの状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「東部丘陵の山並み」のなかで、シンボリックな「石巻山の眺め」がひととき印象的です。</li> <li>・計画地の手前には山並みと並行するように「斜面緑地」が帯のようにつながっており、その向こうには、市街地のまち並みが見え隠れしています。</li> <li>・手前には、豊川の「潤いある流れ」と「開放的な水辺」の空間が広がっており、遠くの山並みまで、豊かな緑がつながって見えます。</li> </ul>
<p>②デザインのコンセプト</p>	<p>石巻山の美しい眺望を損ねない、自然に馴染む景観をつくる。</p>
<p>③具体的なデザイン</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石巻山や東部丘陵の眺めを阻害しないよう、高さをできるだけ抑えます。</li> <li>・屋根は、背景の山並みと調和し、手前の開放的な空間との繋がりが生まれるよう勾配屋根とします。また、屋上の設備は目立たないように工夫します。</li> <li>・外観の色彩は、水辺から山並みにつながる自然になじむよう、彩度を抑えたYR～Y系の色彩を基本とし、高明度色は避けます。</li> <li>・主要な視点場からの眺めを意識し、外観に凹凸を設けたり素材を使い分けたりすることで、壁面に陰影や変化を生み出し、背後の山並みや周辺のまち並みになじませます。</li> <li>・敷地内の既存の緑を保全し、周囲はできるだけ緑化し、自然が主体の眺めに溶け込むようにします。</li> </ul>

※この添付図書は、豊橋市景観計画ガイドラインを参考にしながら、現地等の調査結果を踏まえて記入してください。②デザインのコンセプト以降は、現時点のイメージで構いません。

※イメージスケッチや参考写真等がありましたら添付してください。